

東京聖徳学園創立70周年

記念式典開き祝う

千葉・松戸

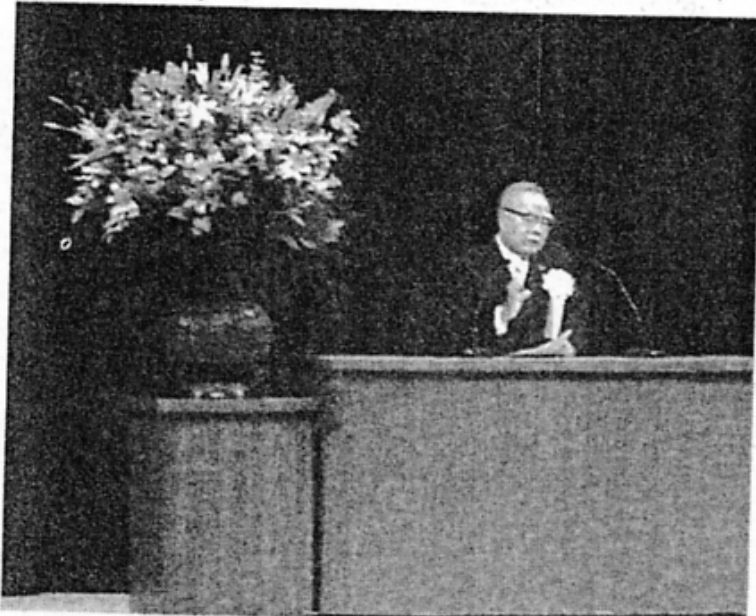
p.57-16

建学の精神である「和」の心を教育の基本理念とする、東京聖徳学園（川並弘昭理事長・学園長、東京都港区）の創立七十周年記念式典がこのほど、松戸市の川並香順記念講堂で盛大に開かれた。

同学園は一九三三（昭和八）年、聖徳太子の「和ヲ以テ貴シト為ス」を建学の精神に、川並香順・孝子夫妻によって聖徳家政学院・新井宿幼稚園として創立。以来、一貫して人間教育と女子教育

を貫き、現在は幼稚園から大学院までを要する一大総合女子教育の学園に成長した。式典で、川並理事長は「勉学とともに礼儀作法などを身に付ける伝統の女子教育に、これからも一層力を注いでいきたい」とあいさ

つ。併せて、後援会などからの寄付金の贈呈、十一月に同時取得した「ISO9001教育マネジメントシステム」と「ISO14001環境マネジメントシステム」の認証式も行われた。なお、学園では記念事業の一貫として、JR松戸駅前に地上九階建ての「聖徳大学生涯学習社会貢献センター」の建設などを計画している。



記念式典であいさつする川並理事長